

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	保健対策事業			事務事業コード	4111-1
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	健康増進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 「保健補導員会」の活動が活発になり、市民の健康増進意識が高まっている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること <ol style="list-style-type: none"> 保健補導員会の事務局を担当する。 (保健補導員会:約30~50世帯に対し1名の割合で、区長により推薦された2年任期で市長が委嘱し、地域の健康づくりの担い手とし、地域の健康課題に取り組む活動を行う。保健補導員数698名) 理事会において、事業計画等を立て事業を行う。 任期1年目に新任研修を行う。2年目は保健補導員大会を開催し、活動発表等を行う。 14ブロックにおいて、年4回ブロックごとに健康づくりに関する研修を行う。 健康アンケート調査を実施し、佐久市の健康状況をまとめ市内の巡回展示及び市のHPで公表する。 研修成果を保健補導員が地区活動として、各地区単位で地区自主活動を実施し、市民に還元する。 特定健診受診率向上のため該当キャンペーンに協力する。 	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	4,184		1,470		4,641	
	人件費	2.10 人	14,700	2.55 人	17,340	2.35 人	15,980
	非常勤職員等	1610 時間	1,851	1237 時間	1,522	990 時間	1,388
	人件費合計	16,551		18,862		17,368	
	総事業費	20,735		20,332		22,009	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	412		185		462	
	一般財源	20,323		20,147		21,547	
	財源合計	20,735		20,332		22,009	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会 4回/年実施 ・ブロック研修会 14ブロックごとに2回/年実施 ・地区自主活動は、全238地区中、実施を希望した29地区のみ感染予防に留意して実施 ・地区ごとの活動が出来なかったため、全地区統一の地区自主活動として、保健補導員会の活動紹介や健康情報等をまとめた『保健補導員会だより』を作成し、2月に全戸回覧を実施 ・保健補導員が個々に学べる機会の提供を目的として、事務局から保健補導員へ健康情報を紙面にて発信
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
地区自主活動実施地区数	地区数	実績	18	29	
		目標	238	238	238
	%	達成率	8	12.2	
成果指標	単位				
保健補導員会ブロック研修会への参加率	人	実績	279	893	
		目標	1466	1398	1392
	%	達成率	19	63.9	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	未達成	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地区自主活動や理事の出席する各種大会及び研修会、地区自主活動が中止となり、例年通りの活動が行えなかった。ブロック研修会は広い会場を確保しウォーキングを実施することができた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市民への健康づくりを普及するためには、保健補導員の活動が重要となることから、その活動に対して市が支援をする必要がある。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区によっては、世帯数の減少等により「保健補導員の後任者の選出が難しい」と区長から相談がある。 ・保健補導員が、研修会に参加しやすくなるような方法を検討する必要がある。 ・保健補導員の任期終了後も自主活動が継続できる支援体制を検討していく必要がある。 ・生活習慣病予防や子育て支援等、若い世代に健康増進の啓発を図るため、地区自主活動に対し、行動支援や技術支援を行う必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・保健補導員活動について市民に周知をしていく。 ・保健師が担当する地区の保健補導員の相談にのり、地区での活動を支援していく。 ・ブロック研修会等では、参加しやすい環境、内容、方法とする。 ・地区自主活動を若い世代の健康増進に関わるテーマに拡大していく。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田保健対策事業			事務事業コード	4111-2
担当	総務 部	臼田支所 課	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 保健補導員の保健予防活動や健康相談により、市民の健康が増進されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・保健補導員の選出を各区長に依頼する。(2年毎) ・保健補導員の委嘱書交付式及び新任研修を行う。 ・保健補導員大会を開催する。(2年毎) ・健康づくりをテーマに、保健補導員会ブロック研修会を実施する。 ・保健補導員各種研修会(県や佐久地区研究大会等)に参加する。 ・保健補導員が行う「地区自主活動」の支援、及び健康相談等を行う。 ・地区に出向いた健康相談や、個人に対する訪問や来庁による相談事業を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.33 人	2,310	0.25 人	1,700	0.33 人	2,244
	非常勤職員等	292 時間	315	292 時間	350	292 時間	315
	人件費合計	2,625		2,050		2,559	
総事業費		2,625		2,050		2,559	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,625		2,050		2,559	
	財源合計	2,625		2,050		2,559	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県大会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となり、佐久地区保健補導員等研究大会は講演や事例研究発表を動画にて各自視聴学習とした。 ・ブロック研修会は、感染予防に留意した上で臼田地区では10月19日「健康づくりのための正しいウォーキング」を県立武道館で実施し、参加者83名(63.8%)であった。 ・地区自主活動については、積極的な実施はせず、事務局で「保健補導員だより」を年2回作成し保健補導員に配布した。また、「コロナ禍における生活状況について」アンケート調査し、市民全戸回覧にて結果をお知らせした。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
地区自主活動でウォーキングの推進	地区数	実績	1	0	
		目標	5	1	1
	%	達成率	20	0	
成果指標	単位				
ブロック研修会参加率	参加率	実績	40.8	68.3	
		目標	70	40	60
	%	達成率	58	170	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明> 新型コロナウイルス感染症の流行により、これまで通りの活動ができず、感染予防に留意した上で開催できる広い会場での研修会を1回実施した。 保健補導員の地区自主活動で「ウォーキングステーション」は積極的な開催は見合わせていたため、今年度はなかったが、補導員の研修会で正しいウォーキングを実施することで各自生活に取り入れていく機会を設けた。「保健補導員だより」を年2回発行し、健康についての知識の普及に努めた。
	達成	
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市が積極的に関与することにより、保健補導員の活動が継続され、地域での健康意識をより一層高めることが出来る。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック研修会等への参加を促すために、保健補導員が参加しやすい体制をつくる必要がある。 ・保健補導員の任期終了後も、自主活動が継続できる支援体制を検討していく必要がある。 ・地域活動において人が集まる事で新型コロナウイルス感染のリスクが高くなり、これまで通りの実施が難しいため、コロナ禍に於ける保健補導員活動を検討していく必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の内容については、保健補導員自身の意見や要望を聞き、関心のあるテーマを取り入れていく。また、開催日時についても、保健補導員が参加しやすい日程を考慮する。 ・各種研修会への積極的な参加を促し、地域での健康づくりの推進役として活躍ができるよう支援する。 ・集まる研修以外での「保健補導員だより」の発行、動画、インターネット等を活用し、健康に関する知識の普及や啓発を継続していく。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	浅科保健対策事業			事務事業コード	4111-3
担当	総務 部	浅科支所	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	国民健康保険法第82条		
管理方法	通常		地方自治法第174条の規定による専門委員		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 佐久市健康づくり計画を基に、地域組織である保健指導員活動の支援や健康相談により、市民の健康が増進されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 1 保健指導員の選出に関する事務 任期は2年、各区長に選出を依頼する。途中欠員の場合は、後任は選出を依頼する。 2 保健指導員委嘱書交付及び新任研修(任期の初年度)の実施 3 保健指導員大会の開催 佐久市全体で講演会及び地区活動の発表等を任期の2年目に行う。 4 県、佐久地区等の保健指導員各種研修会への参加 5 保健指導員ブロック研修会を、各ブロックごとに年間計画に基づき実施する 6 年1回市民を対象とし「健康づくり佐久市民のつどい」を開催する。 7 健康相談事業 地区担当保健師が地区に出向き、健康相談(栄養相談含む)を実施する。 8 個別相談事業 個人に対し、訪問や来庁により心身に関する相談事業を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.31 人	2,170	0.27 人	1,836	0.27 人	1,836
	非常勤職員等	48 時間	52	48 時間	58	48 時間	58
	人件費合計	2,222		1,894		1,894	
総事業費		2,222		1,894		1,894	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,222		1,894		1,894	
	財源合計	2,222		1,894		1,894	

令和 3 年度 実施内容	<p>ブロック研修会、健康アンケート調査、地区自主活動への取り組み。 佐久市新任保健補導員委嘱書交付式並びに第1回ブロック研修会を5月に実施。 第2回ブロック研修会を10月に実施(交流文化館浅科) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、佐久市保健補導員を対象にアンケートを実施した。(令和3年9月1日～11月5日)回答率83.8% 地区自主活動も1地区で実施した。(12月塩名田地区)</p>
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
保健補導員 ブロック研修会	回	実績	1	2	
		目標	1	2	3
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
保健補導員 ブロック研修会 参加率	%	実績	25	60.5	
		目標	50	50	50
	%	達成率	50%	121%	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	保健補導員ブロック研修会等では、保健補導員に健康の保持増進について、学習する機会を提供し、市民の健康づくりの担い手としての意識の向上を図った。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市民が安心して健康が保持増進できる暮らしができるため、市の関与の必要性は高い。
事業の課題	<p>保健補導員が市民へ健康づくりを推進し普及するためには、研修会や会議等に積極的に参加し、活動内容を十分に理解し、健康に関する学びを深めることが必要である。 また、参加を促すためには、研修会の内容、開催時期等について精査することが必要である。</p>	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <p>保健補導員会の各種研修会への積極的な参加を促し、地域での健康づくりの推進役として活躍が出来るよう支援する。</p>						

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月保健対策事業			事務事業コード	4111-4
担当	総務 部	望月支所	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	国民健康保険法第82条		
管理方法	通常		地方自治法第174条の規定による専門委員		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 佐久市健康づくり計画とともに、地域組織である保健補導員活動の支援や、健康相談により市民の健康が増進されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること <ul style="list-style-type: none"> ・保健補導員の委嘱書交付及び新任研修(2年間任期の初年度に1回)を行う。 ・保健補導員大会(2年に1回佐久市全体で、任期2年目で開催)を行う。 ・保健補導員各種研修会(市全体で県・地区等研修)に参加する。 ・保健補導員会ブロック研修会を年間計画に基づいて実施する。 ・「健康づくり市民のつどい」開催に関する業務を行う。 ・保健補導員が各地区で行う支援及び健康相談に関する報告等の事務を行う。 ・保健補導員の選出(2年に1回各区長に依頼)に関する業務を行う。 ・健康相談事業として、地区担当保健師が、各地区に出向いて健康相談等を実施する。 ・個別相談事業(個人に対して、訪問または来庁で)実施する。 	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,100	0.34 人	2,312	0.34 人	2,312
	非常勤職員等	100 時間	108	200 時間	240	200 時間	240
	人件費合計	2,208		2,552		2,552	
総事業費		2,208		2,552		2,552	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,208		2,552		2,552	
	財源合計	2,208		2,552		2,552	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行により、県、佐久地区及び佐久市の大会が全て中止となった。 ・感染予防に十分留意した上で、委嘱書交付式に併せ行ったブロック研修と、屋外で行うブロック研修会を実施した。 ・地区自主活動については、区長会の方針と合わせ積極的な実施はしないこととし、事務局で保健補導員だよりを作成し各地区で回覧を行った。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
補導員ブロック研修会	実績		1	2	
		目標	4	2	4
	%	達成率	25	100	
成果指標	単位				
補導員ブロック研修会 参加率	%	実績	25.3	58.2	
		目標	60	60	60
	%	達成率	41.7	97	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	新型コロナウイルス感染症の流行により、これまで通りの活動ができず、委嘱書交付式および感染予防に留意した上で屋外での研修会を実施した。集まって活動することで感染のリスクが高くなってしまったため、研修会の代わりに保健補導員だよりを事務局で作成、2回発行し健康についての知識の普及に努めた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市が積極的に関与することにより、保健補導員の活動が継続され、地域での健康意識をより一層高めることができる。
事業の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・保健補導員自身がブロック研修会に参加しやすい体制をつくる必要がある。 ・保健補導員の任期終了後も自主活動が継続できる支援体制を検討していく必要がある。 ・集まることで新型コロナウイルス感染リスクが高くなってしまったため、これまで通りの活動を行うことが難しい。 ・コロナ禍における新しい形の保健補導員活動を検討していく必要がある。

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・保健補導員会の研修会の内容について保健補導員から意見・要望を聞き保健補導員が研修に参加しやすいように研修会の内容開催日時など検討していく。 ・保健補導員会の各種研修会への積極的な参加を促し、地域での健康づくりの推進役として活躍が出来るよう支援する。 ・集まって研修会を行うことが難しいため、保健補導員だよりや動画などのインターネットを活用し、健康に関する知識の普及・啓発を継続する。 						

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	森林セラピー事業			事務事業コード	4112-1
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	保健医療政策 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 森林セラピーが市民の健康増進に役立っている。さらに、県内外の観光客が佐久市で森林セラピーを利用することにより、利用者の健康増進、関係人口、交流人口の創出による地域の活性化が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・森林セラピーのツアー計画や森の案内人のガイド技術向上のための研修会等は「佐久市森林セラピー推進協議会」で行う。(事務局:健康づくり推進課) ・様々な健康増進プログラム等とセットにした「市民向けの森林セラピーツアー」を実施する。 ・利用者の希望のプログラムに応じた「団体向けの森林セラピーツアー」を実施する。 ・セラピー基地2か所(平尾の森・春日の森)のウッドチップ敷、下草刈、階段補修などのロードの維持管理、環境整備を行う。 ・森林セラピーについて、ホームページや広報佐久、FMさくいだいら、新聞広告等で広報活動を行う。また、ガイドマップを周辺観光施設などへ配布する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	816		10,199		1,279	
	人件費	0.70 人	4,900	0.70 人	4,760	0.70 人	4,760
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	4,900		4,760		4,760	
	総事業費	5,716		14,959		6,039	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	1,271		3,982		1,102	
	一般財源	4,445		10,977		4,937	
	財源合計	5,716		14,959		6,039	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じ、少人数グループによる森林セラピー体験ツアーを開催。 ・新規メニュー(プログラム)の追加・・・地元店舗の協力によるセラピー用弁当 ・セラピーロード「水辺の小径」の修繕箇所の一部を実施。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
市民向け体験ツアーの実施	回	実績	1	6	
		目標	3	8	9
	%	達成率	33.3	75.0	
成果指標	単位				
ガイド付き森林セラピー体験者数	人	実績	28	94	
		目標	50	225	100
	%	達成率	56	41.7	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	未達成	新型コロナウイルス感染症のまん延により市民向け体験ツアーの定期開催が困難であった。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間による実施が可能	セラピー体験ツアーは民間のプログラムを実施しており、民間による実施は可能である。ただし、施設の維持管理、組織体制や収益性などの課題も多く、民間へ全て移行することは困難なことから引き続き市が関与し、官民連携で進める必要がある。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・春日のセラピーロードは、近年の集中豪雨等によりその都度洗掘されてしまう。修繕には多額の予算がかかることから、施設のあり方について検討が必要である。 ・案内人の運営体制について、登録者数は20名いるが、案内人の活動をしている人数は半数にも満たないため大勢が参加する体制づくりが必要である。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体験イベントの実施方法について工夫が必要である。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・現在借用している土地については県や国の補助金や交付金を活用した修繕を進めるとともに、見直しを行う。 ・新型コロナウイルス感染拡大の収束は不透明なため、実施方法について適切な対策を講じたうえで実施していく。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	保健衛生事務事業			事務事業コード	4112-2
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	保健医療政策 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(定型)		法定根拠		
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 保健医療関係団体や地区組織の事業に対し支援することで、市民が自主的に健康の保持増進に努め、健康的な生活を送っている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ○健康推進のための負担金、交付金等の支援 ・保健補導員会活動費交付金 佐久市保健補導員会活動費交付金要綱に基づき、保健補導員会が行う地域住民の健康増進を図ることを目的として、活動する保健補導員会に交付金を支払う。 (交付年度における保健補導員数に100円を乗じて得た額) ・佐久献血推進協議会負担金(市町村分) ○佐久地域外来検査センター受託業務 長野県から事業を受託、佐久医師会に再委託し佐久地域外来・検査センターを設置運営	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	17,911		18,177		37,581	
	人件費	0.80 人	5,600	0.80 人	5,440	0.80 人	5,440
	非常勤職員等	996 時間	1,075	2329 時間	2,795	1164 時間	1,397
	人件費合計	6,675		8,235		6,837	
	総事業費	24,586		26,412		44,418	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	14,205		13,284		28,836	
	一般財源	10,381		13,128		15,582	
	財源合計	24,586		26,412		44,418	

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	保健センター管理運営事業			事務事業コード	4112-3
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	保健予防 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定期)	法定根拠		地域保健法	
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民が保健センターを利用し、市が行う各種健診、教室、相談、研修会、講習会、会議等に参加することにより、健康の保持及び増進ができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 健康の保持及び増進並びに保健衛生の向上に資する総合的なサービスの拠点場所であることから、利用者が安全で快適に施設の利用ができるよう、保健センターの使用の許可に関する業務並びに施設の維持管理業務を行う。 佐久市保健センター：市が直営で施設の維持管理を実施 浅科保健センター：指定管理制度を活用し、佐久市社会福祉協議会浅科支所で施設の維持管理を実施 (保健センターの利用概要) ①母子保健事業(乳幼児健診、離乳食教室、すこやか相談、育児教室等) ②予防接種事業(申請受付、予診票発行、相談等) ③成人保健事業(各種がん検診、健康診査、保健指導等) ④精神保健事業(心の相談、デイケア、家族会等) ⑤高齢者介護予防事業(介護予防教室) ⑥地区組織等各種団体による研修会、講習会、関係機関との会議等 ※浅科保健センターでは、社会福祉協議会の地域福祉活動のノウハウを生かした自主事業を実施(安心コール、シルバークッキングスクール、お元気レター、サロン世話人講習会等)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		
コスト	事業費	6,377		5,824		7,971		
	人件費	常勤職員	0.55 人	3,850	0.55 人	3,740	0.55 人	3,740
		非常勤職員等	435 時間	431	435 時間	406	435 時間	406
		人件費合計	4,281		4,146		4,146	
	総事業費	10,658		9,970		12,117		
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	171		166		161		
	一般財源	10,487		9,804		11,956		
	財源合計	10,658		9,970		12,117		

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターの維持管理 各種保健事業等に関する貸出事務（乳幼児健診・教室・各種健診・地区組織活動等） 稼働日数 262日（平日 241日 ・休日 21日） 貸出回数 1,279回 利用者数 18,154人
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
保健事業への貸し出し数	回	実績	1066	1279	
		目標	1600	1600	1600
	%	達成率	66.6	79.9	
成果指標	単位				
保健センター内での事故件数、及び利用者からの苦情件数	件	実績	0	0	
		目標	0	0	0
	%	達成率	100	100	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	<p>保健センターの稼働日数・貸出回数は新型コロナウイルス感染症の影響で会議や事業の自粛を行ったため、昨年度からは回復傾向にあるものの、利用率は8割にとどまっている。</p> <p>建築後30年経過し、計画的に改修工事を行い、施設整備に努めている。</p> <p>計画された各種保健事業は予定どおり実施でき、事故・苦情等もなかった。</p> <p>浅科保健センターでは、地域保健福祉事業を推進している団体(社協)としての特性を生かした自主事業を実施するなど、有効的な施設活用ができた。</p>
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	<p>保健センターは地域保健法により設置が定められ、市民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査、その他地域保健に関し必要な事業を行うことを目的としている施設であるため。</p>
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターの利用者は、乳幼児から高齢者まで幅広く、利用件数も多い。特に佐久市保健センターは建築後30年以上経過している施設であることから、利用者が安全で快適に利用ができるよう、順次建物の修繕、改修や設備の充実を進めていく必要がある。 浅科保健センターは指定管理者である社会福祉協議会の特性を生かした施設利用を、より一層進めていく必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> 佐久市保健センターは現状のまま市の直営とし、必要に応じて修繕、改修を実施し、安全で利用しやすい施設環境に努める。 浅科保健センターは指定管理者制度を活用し管理していく。 (指定管理期間 平成30年度～令和4年度) <p>指定管理者である社会福祉協議会の特性を生かした自主事業の推進や隣接する介護保険施設、障がい者支援施設等と連携を取りながら、より一層有効的な施設活用について検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係部署との調整を図りながら、保健センターが効果的・効率的に使用できるよう、貸出事務を進める。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	ぴんころ運動推進事業			事務事業コード	4112-4
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	健康増進 係	事業開始年度	平成 19 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠	健康増進法・老人保健法		
管理方法	通常		高齢者の医療確保に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民が正しい食生活と適正な運動習慣を身につけ、健康でいきいきと暮らしている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 1 ピンピン講座開催(健康講話/健康測定/健康及び栄養相談/運動の推進/ぴんころ食紹介・試食) 2 ぴんころステーションを市内各地区で実施(栄養講話/健康及び栄養相談/健康計測/ぴんころ食紹介・試食) 3 ぴんころ食の普及(ぴんころ食レシピコンテスト入選作品レシピの配布、食生活改善推進協議会に委託し普及) 4 食育の推進(食育教室の実施、食育応援隊の養成及び食育活動) ※R4年度から国保医療課「高齢者と介護予防の一体的事業」へ予算組替えのため、按分により算出	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	538		326		259	
	人件費	0.85 人	5,950	0.80 人	5,440	1.15 人	7,820
	非常勤職員等	567 時間	618	137 時間	165	148 時間	205
	人件費合計	6,568		5,605		8,025	
	総事業費	7,106		5,931		8,284	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	7,106		5,931		8,284	
	財源合計	7,106		5,931		8,284	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンピン講座を年2回開催(60人参加) ・ぴんころステーション・ぴんころ食普及を53会場で開催(2674人参加)※R3年度から栄養士の他、保健師、歯科衛生士の活動実施分も計上 ・親子の食育教室を実施(18人参加) ・さくさく食育応援隊による食育活動を実施(2会場66人参加) ・インターネットを通じて情報発信(ぴんころ食レシピ動画×3本、保健指導員用減塩動画×2本作製)
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
ピンピン講座開催数	回	実績	3	2	
		目標	4	4	4
	%	達成率	75	50	
成果指標	単位				
ピンピン講座参加者数	人	実績	87	60	
		目標	280	130	200
	%	達成率	31	46	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、イベントや講座の中止が重なったが、感染対策を講じて流行情勢以外で実施した。講座数は前年を上回った。インターネットを使用した情報発信に力を入れた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市が関係団体との連携を図り、事業を行っている。市民が正しい知識を身につけるため、統一した方向性をもって事業展開を行っていくことが必要であると考えられる。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働き世代の事業への参加率が低い。 ・ライフステージの早い段階で生活習慣病に対する意識を高め、予防へ繋げていくことが大切なため、より効果的な内容、手法を検討し、参加率の増加を図ることが必要。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、講座の中止や、ぴんころステーション等の依頼が減少している。 ・新しい生活様式の中での普及方法を検討していく必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピンピン講座、ぴんころステーションを実施する。 ・減塩を中心とした食育について、働き盛り世代へのアプローチの強化を図る。 ・パパママ教室(、4か月児健診)で薄味の味噌汁の試飲による減塩体験の実施。 ・ステーション等で味噌汁の塩分濃度測定を実施。 ・食生活改善推進協議会の協力により、「ぴんころ食」の普及、びんびんキラリ子どもレシピコンテストの開催で、子どもや子育て世代への普及拡大を図る。 ・受賞作品のレシピ集や、新しいぴんころ食メニューの配布を行い、さらなる普及を図る。 ・食育を推進する人を増やす。 ・さくさく応援隊の養成講座開催と修了生による活動の拡大。 ・市ホームページや、インターネット動画を通じ、幅広い世代へ普及を図る。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	口腔歯科保健センター運営事業			事務事業コード	4112-5
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	口腔歯科保健 係	事業開始年度	平成 20 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	長野県歯科口腔保健推進条例		
管理方法	通常		歯科口腔保健の推進に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民の口腔内がいつでも清潔・健康な状態に保たれていることで、おいしく食事をし、会話を楽しむことができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 事業対象者: ・妊娠期・乳幼児期から高齢期まで、すべての年代 実施事業: ・2歳児歯つぴ一教室・妊婦歯科健診・お口の相談日・歯周病(義歯)検診・保育園、幼稚園の年長児及び小中学校のフッ素洗口・口腔衛生指導など、むし歯予防や口腔機能の向上を図るための事業を実施する。 ・日曜日・祝日・お盆・年末年始における市民の救急歯科医療の確保と提供のため、佐久歯科医師会が開設する「休日救急歯科診療所」の運営について、運営費補助金を佐久歯科医師会へ交付する。 (開設日数・時間 :年間74日 午前9時から正午と、午後1時から3時の間) 事業の周知方法: 広報紙・HPの活用やチラシを保育園等関係機関に配布し事業の周知を図る。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	11,771		10,966		15,351	
	人件費	0.94 人	6,580	0.94 人	6,392	0.94 人	6,392
	非常勤職員等	3484 時間	6,756	3500 時間	7,060	3500 時間	7,060
	人件費合計	13,336		13,452		13,452	
	総事業費	25,107		24,418		28,803	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	26		28		23	
	一般財源	25,081		24,390		28,780	
	財源合計	25,107		24,418		28,803	

令和 3 年度 実施内容	2歳2か月・2歳3か月の幼児とその保護者を対象とした「歯っぴー教室」や、市民を対象とした「お口の相談日」、35歳以上を対象とした「歯周病(義歯)検診」を実施した。 妊婦を対象とした妊婦歯科健診を佐久歯科医師会・北佐久歯科医師会に委託して実施した。 また、佐久歯科医師会が開設・運営する「休日救急歯科診療所」については感染症対策を行い、市民への周知を広報及びホームページに掲載して行い、補助金を交付した。
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
歯周病(義歯)検診 開催数	回	実績	38	38	
		目標	38	38	33
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
歯周病(義歯)検診受診率 (歯周病(義歯)検診受診者 /地域集団検診受診者)		実績	33	34	
		目標	50	50	50
	%	達成率	60	68	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	歯周病(義歯)検診の受診者数については、平成29年度に検診料金500円を無料としたことにより、約3倍に増加した。その後は、かかりつけ医がいることもあり、年々受診者が減少している。 また、コロナ禍により受診控えがあるものと思われる。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	口腔歯科保健推進に関する施策の実施について、「歯科口腔保健の推進に関する法律」及び「長野県歯科保健推進条例」において、市の責務が明記されている。また、「歯周病(義歯)検診」は、健康増進法に基づく健康増進事業として積極的に実施することが通達されていることから、市の関与が必要である。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歯ブラシと併用して歯間ブラシ等補助的清掃用具を使う人の割合が低い ・歯みがきを毎食後行う人の割合が低い ・歯科医院等で定期的に歯科健診を受ける人が増加しており、歯周病検診の受診者が減少している。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児を対象とした健康診査や健康相談において、生活習慣状況に応じた歯科保健指導を実施し、適切な食習慣、歯みがき習慣等について普及啓発する。 ・学校・幼稚園・保育園などの健康診査における歯科診査を通じて、歯科疾患の早期発見・早期治療を進める。 ・感染対策を講じ、フッ化物を活用したむし歯予防を推進する。 ・妊娠期から始まる歯や口の健康づくりについて正しい知識を普及させる。 ・歯周病予防の重要性を周知するとともに、歯科健診等の情報提供を実施する。 ・歯科疾患予防のため、かかりつけ歯科医の重要性を啓発する。 ・高齢者、障がい者等の口腔ケアや口腔機能維持・向上を支援するため、関係機関等と連携し、事業の推進を図る。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	サングリモ中込管理運営事業			事務事業コード	4112-6
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	口腔歯科保健 係	事業開始年度	平成 20 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠	佐久市複合型公共施設サングリモ中込条例		
管理方法	通常		建築基準法、消防法等		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 複合型公共施設サングリモ中込を市民のみなさんが安全に安心して利用し、世代を超えた交流をとおして地域の活性化が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 施設管理体制： 管理人を常時1名配置し、12月31日から1月3日までの夜間を除いて、午前8時から午後10時まで管理している。 管理人はシルバー人材センターに委託している。 なお、管理人が常駐している以外の時間帯は、警備業者へ管理を委託している。 管理施設：サングリモ中込1・2階の公共施設 中込交流センター(商工振興課所管)・シルバーサロン(高齢者福祉課所管)・中込共同作業センター(福祉課所管)・つどいの広場交流センター(子育て支援課所管)・サングリモ中込図書館(中央図書館所管)・口腔歯科保健センター・共有スペース・駐車場(健康づくり推進課所管)の管理を行う。 光熱水費等維持管理費： それぞれの施設を所管する課で対応している。 設備機器等の保守点検業務： 施設の各種設備及び駐車場管理システムについて、専門業者により実施し契約等の事務手続きは担当課で行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	9,512		9,646		10,313	
	人件費	0.52 人	3,640	0.52 人	3,536	0.52 人	3,536
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	3,640		3,536		3,536	
	総事業費	13,152		13,182		13,849	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	247		320		268	
	一般財源	12,905		12,862		13,581	
	財源合計	13,152		13,182		13,849	

令和 3 年度 実施内容	交流センターの休館日(12月31日から1月3日まで)を除き、年間をととして午前8時から午後10時まで、管理人を常時1名配置し、1・2階の公共施設及び駐車場の保守管理を行った。また、施設の各種設備・駐車場管理システムについて、専門業者による保守点検業務を実施した。
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
サングリモ中込の開館日数	日	実績	365	365	
		目標	365	365	365
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
サングリモ中込の利用者数	人	実績	32,775	38,242	
		目標	54,000	54,000	54000
	%	達成率	61	71	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	サングリモ内の各施設においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、密にならないよう人数制限等の配慮をしたうえで開館しているので利用者数が目標値に至らなかった。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	口腔歯科保健系の事業を含め、市の多種多様な事業を実施する施設が集まっている複合型公共施設であることから、当面、運営等を総合的に管理していくため、市の関与が必要である。
事業の課題	施設を市民が安全で安心して利用するために行っている事業である。 建物や設備の保守点検等のコストも入札等により圧縮を図っており、嘱託職員で対応していた昼間の施設管理業務を、平成30年度から、夜間の施設管理業務と併せてシルバー人材センターに委託することで経費削減を図るなど、効率的な運営を行っている。 光熱水費等も削減しているが、建築から12年が経過し空調などの修繕箇所が増えてきている。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> サングリモ中込に集う人々が、安全で安心して利用できるように施設の保守・管理運営を確実に行う。		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田健康教育事業			事務事業コード	4112-7
担当	総務 部	臼田支所 課	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	健康増進法・国民健康保険法第82条		
管理方法	通常		高齢者の医療に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	2.保健活動
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 健診受診者本人が、自分の健診結果を正しく受け止め、運動・栄養に対する理解を深めることにより健康が維持増進されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・地域集団健康診査の「結果報告会」を10回/年開催する。 ・「個別指導(健診結果の説明)」と、「集団指導(参加者全員に対する健康教育)」を実施していたが、コロナの流行期においては感染対策のため参加者を限定して実施する。 (参加予定者: 特定保健指導者・重症化予防対象者・栄養指導必要者・希望者等) ・結果報告会に参加できなかった方に対し、必要に応じ支所や訪問などで保健指導を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	45		42		40	
	人件費	0.57 人	3,990	0.27 人	1,836	0.57 人	3,876
	非常勤職員等	292 時間	315	292 時間	350	292 時間	315
	人件費合計	4,305		2,186		4,191	
	総事業費	4,350		2,228		4,231	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	4,350		2,228		4,231	
	財源合計	4,350		2,228		4,231	

令和 3 年度 実施内容	報告会での密集を避けるため、健診受診者のうち35～74歳の方としていた対象者を、特定保健指導・重症化予防・栄養指導等限定して実施となった。 集団指導は実施せず、時間指定をした個別相談のみとした。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
結果報告会開催数	回	実績	9	10	
		目標	10	10	10
	%	達成率	90	100	
成果指標	単位				
結果報告会参加率	人	実績	67	97	
		目標	70	70	100
	%	達成率	95	138	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	報告会の対象者を限定して実施したが、昨年より報告会対象者を増やして実施することができた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	健診後の事後指導を行い、市民の健康管理や生活習慣予防を行う事は健康長寿のまちづくりに必要である。引き続き市が実施しながらも、より有効な支援方法がないか、また、病院など活用できる資源がないか等、検討していく必要はある。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の高齢化や、生活習慣病予備軍の増加が見込まれるため、サービス量の見直しが必要である。 生活習慣病予備軍や、重症化予防への取り組みについて医療機関との連携が求められる。 コロナ禍での、感染対策を実施した安全な実施が求められている。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期～壮年期の市民を対象とした「健康教育」の内容を検討し、若いうちから生活習慣の見直しと健康意識の向上をはかる。 ・医療機関との連携により、生活習慣病予防、重症化予防の取り組みを行う。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田ぴんころ運動推進事業			事務事業コード	4112-8
担当	総務部	臼田支所 課	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	高齢者の医療医療確保に関する法律		
管理方法	通常		健康増進法		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること ぴんころ運動の普及により、生活習慣病の予防と健康増進に対する意識付けがされ、市民の健康長寿に結びついている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・各地区において、生活習慣病予防の啓発事業(ぴんころステーション・ピンピン講座・ぴんころ食の普及)を実施する。 ・臼田地区で「ピンピン講座」を年1回開催する。 健康長寿を目的に「栄養・運動・休養」の中からテーマを選び、講演会等を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.18 人	1,260	0.15 人	1,020	0.18 人	1,224
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,260		1,020		1,224	
	総事業費	1,260		1,020		1,224	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,260		1,020		1,224	
	財源合計	1,260		1,020		1,224	

令和 3 年度 実施内容	<p>感染対策を実施した上で、子育て世代の若い母親が「自分や家族の健康」について考えることを目的に「ピンピン講座」を開催した。</p> <p>1日時 令和3年9月30日(木)午後9時～11時</p> <p>2場所 あいとびあ日田</p> <p>3テーマ 「赤ちゃんと出来るママの健康体操」</p> <p>4講師 理学療法士 梅香 育恵先生</p> <p>5内容 親子で出来る健康体操、栄養ワンポイントアドバイス、ぴんころ食の試食、検診の紹介と受診勧奨、血圧測定、個別相談</p>
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
ピンピン講座開催回数	回	実績	1	1	
		目標	1	1	1
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
ピンピン講座参加者人数	人	実績	43	29	
		目標	50	50	30
	%	達成率	86	58	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に入り、コロナの感染者数が高く推移していたため積極的な参加者の勧奨が出来ず、参加者数は目標達成できなかった。しかし参加者からはアンケートから満足した回答を得ることができた。 ・若い世代の母親が、自分や家族の健康について考え、運動や食生活を見直す機会となった。 ・開催後のアンケートで、全ての参加者から「講座で学んだことは日常生活に取り入れられそう」の回答が得られ、母親自身が生活や健康に目を向ける機会になった。
官民連携の可能性	方法	市民の健康づくりに関しては市が関与し、責任を持って指導していく必要がある。
	市が実施する必要がある	
事業の課題		・若い世代から、「自分の体」や「健康」に関心が持てるよう推進していく必要がある。

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針			<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を行い、参加者の体調を確認し実施する。 ・子育て中の母親が「健康」の知識を深め実践する事は、家族や子供の健康にも繋がる。 参加者が「参加しやすい日程」、「関心あるテーマ」を検討し、市民のニーズに合った事業とする。

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	浅科健康教育事業			事務事業コード	4112-9
担当	総務 部	浅科支所	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	健康増進法・老人保健法		
管理方法	通常		高齢者の医療確保に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 健康教育が正しく実施され、市民が健診を正しく理解することにより、健康の増進が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・地域集団健診の結果報告会の際に、健康教育及び生活習慣病予防等の保健指導を行う。 ・結果報告会に参加できなかった方に対しては、必要に応じて訪問や来所等により保健指導を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	44		41		40	
	人件費	0.36 人	2,520	0.31 人	2,108	0.31 人	2,108
	非常勤職員等	30 時間	32	30 時間	36	30 時間	36
	人件費合計	2,552		2,144		2,144	
	総事業費	2,596		2,185		2,184	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,596		2,185		2,184	
	財源合計	2,596		2,185		2,184	

令和 3 年度 実施内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、結果報告会は参集範囲を保健指導対象者に絞って実施。集団指導は中止し、参集対象者以外は郵送で結果返却。 健診結果を受け、面談による特定保健指導や糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施。 電話による精密検査受診勧奨を実施。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
健診結果報告会	回	実績	4	4	
		目標	4	4	4
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
健診結果報告会 参加者数	人	実績	41	42	
		目標	180	70	60
	%	達成率	22.8	60.0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	結果報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集対象をハイリスクアプローチに絞った。該当者の中で、報告会欠席者へは健診結果を郵送とせず、別日程に個別対応にて保健指導を行いながら結果を返却し対応した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	健診後の事後指導を行い、市民の健康管理や生活習慣病予防を行う事は、健康長寿のまちづくりに必要であり、個人情報の取り扱い、プライバシー保護の観点からも市が関与する必要がある。
事業の課題	市民の高齢化及び医療費の増加傾向がみられる中、医療機関との連携を図るとともに、生活習慣病予備軍等に対する個別指導及び重症化予防への取り組みが重要である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 結果報告会の実施については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後も参集対象者を絞り、ハイリスクアプローチに重点をおき実施していく。ハイリスク対象者以外は、ポピュレーションアプローチとして、健診の事後指導時に、健康増進について情報提供する。 医療機関との連携により、生活習慣病予防に加え、重症化予防への取り組みを行う。		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	浅科ぴんころ運動推進事業			事務事業コード	4112-10
担当	総務 部	浅科支所	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること ぴんころ運動の普及により、生活習慣病を予防し、健康長寿で暮らせている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 生活習慣病を予防し、食育や運動の推進とともに市民の健康増進を図るために、啓発事業である「ぴんころステーション」「ピンピン講座」「ぴんころ食の普及」を行う。 「ピンピン講座」は、健康運動体操やウォーキングなどを取り入れ、生活の中で体を動かすことの大切さを学ぶ場として、浅科地区と望月地区を隔年ごとに会場を変更して開催する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.01 人	70	0.07 人	476	0.07 人	476
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	70		476		476	
総事業費		70		476		476	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	70		476		476	
	財源合計	70		476		476	

令和 3 年度 実施内容	浅科地区において、浅科支所と望月支所合同で「ピンピン講座」として「ウォーキングステーション」を開催予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
ピンピン講座開催回数	回	実績	0	0	
		目標	1	1	1
	%	達成率	0	0	
成果指標	単位				
ピンピン講座参加人数	人	実績	0	0	
		目標	80	30	30
	%	達成率	0.0%	0.0%	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	未達成	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止とした。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市民の健康づくりに関しては市が関与し、責任を持って指導していく必要がある。
事業の課題	講座は、常に市民のニーズと社会情勢にあった内容を取り入れ、幅広い年齢層の方が参加できるよう、地域や参加年齢に即した内容等を検討していくことが必要である。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 保健補導員等の地区組織との連携を深め、生活習慣病の予防を主とした生活習慣の改善が市民に取り入れられるよう、普及啓発を行う。 市民が参加しやすいよう、ニーズに合わせた内容や開催時期の検討をしていく。 新型コロナウイルス感染予防対策を行い、参加者の体調を確認し、実施していく。						

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月健康教育事業			事務事業コード	4112-11
担当	総務 部	望月支所 課	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	健康増進法・老人保健法		
管理方法	通常		高齢者の医療確保に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 健診受診者本人が健康診断結果を正しく理解し、その上で健康・運動・栄養等への理解を深め、健康が維持増進されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・基本健診の結果報告会時に健康教育及び生活習慣予防などの保健指導を行う。 ・結果報告会に参加できなかった方に対し、必要に応じて訪問や窓口での保健指導を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	20		15		12	
	人件費	0.40 人	2,800	0.39 人	2,652	0.39 人	2,652
	非常勤職員等	384 時間	415	379 時間	455	379 時間	455
	人件費合計	3,215		3,107		3,107	
	総事業費	3,235		3,122		3,119	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	3,235		3,122		3,119	
	財源合計	3,235		3,122		3,119	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、報告会の対象者を生活習慣の改善が必要なハイリスク者(特保・重症化・栄養)に限定し実施。ハイリスク者以外の方の健診結果は、結果に合わせた内容のチラシを同封し郵送にて対応。 ・結果報告会の対象者を限定したため、健診の事後指導にて個別で年齢に合わせたチラシを配布し、栄養・運動・フレイル予防等の情報提供を実施。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
結果報告会	回	実績	5	4	
		目標	5	5	5
	%	達成率	100	80	
成果指標	単位				
結果報告会参加者数	人	実績	46	46	
		目標	200	80	60
	%	達成率	23	57.5	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、報告会の対象者を生活習慣の改善が必要なハイリスク者(特保・重症化・栄養)に限定し実施したため、結果報告会参加者数は大幅に減少となった。当日の欠席者には、後日来所または訪問により個別指導を実施。7月は2日間開催を予定していたが、対象者少なかったためまとめて1日とした。 ・精密検査対象者には、結果郵送後、電話にて受診方法、結果説明を実施。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	個人の健康状況や個人情報を扱って保健指導を行うためプライバシーの観点から、市が関与する必要がある。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の高齢化や生活習慣病の予備軍の増加が見込まれるため、サービス量や内容の見直しが必要である。 ・佐久市は地域が広く地域性にも特徴があるため生活習慣病の個人指導等を各地で実施する必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、報告会の対象者を限定していくため、健診当日の事後指導の内容を充実させ、市民の生活習慣病予防や健康の維持・増進に対する意識の向上を図る。結果報告会の集団及び個別指導により、青年期から壮年期の市民を中心に、食事や身体活動・運動に対する意識の向上を図る。</p> <p>医療機関との連携により、生活習慣病予防に加え、重症化予防への取り組みを行う。</p>		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月ぴんころ運動推進事業			事務事業コード	4112-12
担当	総務 部	望月支所	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること ぴんころ運動の普及により、生活習慣病予防と健康増進に対する意識付けがされ、市民の健康長寿に結びつけている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・各地区において、生活習慣病予防の啓発事業(ぴんころステーション・ピンピン講座・ぴんころ食の普及)を実施する。 ・ピンピン講座は健康運動体操やウォーキングなどを取り入れ、生活の中で体を動かすことの大切さを学ぶ場として望月地区と浅科地区を隔年ごとに会場を移し開催している。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.01 人	70	0.09 人	612	0.09 人	612
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	70		612		612	
総事業費		70		612		612	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	70		612		612	
	財源合計	70		612		612	

令和 3 年度 実施内容	今年度は望月支所と浅科支所合同で「ピンピン講座」を浅科支所主催で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、6月の開催予定を9月に延期したが中止となった。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
ピンピン講座開催回数	実績		0	0	
		目標	1	1	1
	%	達成率	0	0	
成果指標	単位				
ピンピン講座参加人数	人	実績	0	0	
		目標	60	30	30
	%	達成率	0	0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	未達成	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今年度も開催中止とした。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市民の健康づくりに関しては市が関与し、責任を持って指導していく必要がある。
事業の課題	望月・浅科地区は一年交代でピンピン講座を開催しているが、地域の人が身近で参加しやすいように、それぞれの地域ごとに開催月及び開催日時を見直していく必要がある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・保健指導員等の地区組織との連携を深め生活習慣病の予防を主とした生活習慣の改善が市民に取り入れられるよう普及啓発を行う。 ・市民が参加しやすいよう、内容や開催時期など検討していく。 ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い、参加者の体調を確認し実施していく。						

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	ヘルスアップ推進事業			事務事業コード	4112-13
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	健康増進 係	事業開始年度	平成 24 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠	健康増進法・老人保健法・国民健康保険法第82条		
管理方法	通常		高齢者の医療確保に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民は自らの健康のため自主的に運動に取り組むとともに、食生活などに気を配ることで、高齢となっても健康を維持している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 【地区ウォーキングステーション】 地域で保健活動を担う保健指導員にウォーキングを学んでいただくとともに、地区への普及も図る。 ・保健指導員会ブロック研修会(14ブロック)でウォーキングの基礎講習を実施 内容:正しい歩き方の指導、靴の履き方、ストレッチ指導 ・保健指導員の地区自主活動にて、各地域でウォーキングを実施 ・ウォーキングマップを利用、普及を図る。 【ピンピン講座】 食と運動の両面から健康意識の向上を図る。 年4回(本庁・支所エリア)ウォーキングや室内運動を実践するとともに、ぴんころ食(健康食)の紹介と試食を実施 【佐久市プラステン活動・ベジファースト活動・運動マイプラン活動】 ・佐久市プラステン活動(今より10分多く体を動かそう)、ベジファースト活動(野菜から先に食べよう)、運動マイプラン活動(自分で計画を立てて運動しよう)をスローガンとし、その普及を図る。 ・地域集団健診結果報告会時や特定保健指導時に、説明、実践に向け対象者と共に計画する。 ※R4年度から国保医療課「高齢者と介護予防の一体的実施事業」へ予算組み替えのため按分により算	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	154		98		222	
	人件費	0.80 人	5,600	1.05 人	7,140	0.85 人	5,780
	非常勤職員等	870 時間	1,019	164 時間	202	200 時間	240
	人件費合計	6,619		7,342		6,020	
	総事業費	6,773		7,440		6,242	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	6,773		7,440		6,242	
	財源合計	6,773		7,440		6,242	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ウォーキングステーション14ブロック中止、ピンピン講座2回開催(ウォーキングステーションや健康体操)、ヘルスアップ運動教室中止。 ・結果報告会個別指導時や特定保健指導時に、各々の状態に合わせて対象者主体で食事・運動計画を作成。 ・ウォーキングマップのコース状況を確認し、一部を歩きやすく安全なコースへと修正し周知。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
ウォーキングステーションの実施回数	回	実績	18	15	
		目標	32	18	18
	%	達成率	56.3	83.3	
成果指標	単位				
参加者延べ数	人	実績	377	420	
		目標	700	400	450
	%	達成率	53.9	105.0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、保健指導員の地区自主活動でウォーキングが実施できなかった。ピンピン講座も、人数制限を設けて実施したため、開催回数、参加人数ともに減少している。運動習慣のきっかけづくりのため、特定保健指導対象者向けに、運動教室を開催した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	平成26年度の市民アンケート調査では、特に働き盛りの若い世代で、体を動かす習慣があると答えた割合が少なく、この結果は令和元年度の市民アンケート調査でも同様であり、若い世代へのアプローチが課題となっている。このことから、特に運動の時間がとれない方に向けて、「日常生活の少しの工夫で運動ができ、なおかつ継続ができる方法」を提案する必要があるという結果となった。運動不足と生活習慣病の関係や、運動習慣の必要性を広めるため、現時点では市の関与が必要と考える。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングステーションの地域定着を目指し、ウォーキングステーションとウォーキングマップの市民への周知・勧奨を図っていく必要がある。また、若い年齢層の参加者が少ないため、実施時期や時間帯、周知方法等を工夫するなど、企画の検討も必要である。 ・将来は、市民の自主的な活動につなげていくために、具体的な実施方法などの情報提供等を行い、状況に応じて市の関与を小さくし、市主体から市民主体の活動としていくことが望ましい。また、外部への委託も検討していく余地がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・ウォーキングステーションの地域定着を目指し、ピンピン講座と保健指導員会活動(ブロック研修会・地区自主活動)にてウォーキングマップを活用しながら地域でのウォーキングステーションの更なる普及・推進をする。また、ウォーキングマップの普及のため、市のホームページなどで周知する。 ・市民の自主的な活動につなげていくため、団体等と協力しながら効果や実施体制について検証していく。 ・佐久市プラス10活動・ベジファースト活動・運動マイプラン活動を推進していく。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	健康教育事業			事務事業コード	4112-14
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	健康増進 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠	健康増進法・老人保健法・国民健康保険法第82条		
管理方法	通常		高齢者の医療確保に関する法律		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 健(検)診を受け、自身の健康状態を把握し、適切な生活習慣を継続、または生活習慣の改善を図ることができる。精密検査が必要な項目については、医療機関を受診し、症状の早期改善につなげる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 1 ポピュレーションアプローチ ・「健康相談・出前講座」による健康知識の普及啓発 ・生活習慣病重症化予防講演会 ・健診の受診勧奨 ・健診結果返却時に生活習慣病予防等知識の普及啓発 2 ハイリスクアプローチ ・特定保健指導 ・精密検査受診勧奨 ・佐久地域糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 3 その他 ・保健指導に携わるスタッフの力量形成のための研修等	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	130		128		170	
	人件費	2.30 人	16,100	2.55 人	17,340	2.40 人	16,320
	非常勤職員等	3738 時間	4,166	2982 時間	3,610	2544 時間	3,341
	人件費合計	20,266		20,950		19,661	
	総事業費	20,396		21,078		19,831	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	20,396		21,078		19,831	
	財源合計	20,396		21,078		19,831	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、結果報告会は参集範囲を保健指導対象者に絞って実施。集団指導は中止し、参集対象者以外は郵送で結果返却。 ・ポピュレーション講演会を開催し、糖尿病専門医による生活習慣病予防のための講話を行った。 ・慢性腎臓病、糖尿病性腎症のハイリスク者に対しての、生活習慣病重症化予防講演会は中止した。 ・健診結果を受け、面談による特定保健指導や糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施。 ・電話による精密検査受診勧奨を実施。
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
結果報告会の開催数	回	実績	36	34	
		目標	36	34	30
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
結果報告会の参加率	%	実績	60.1	52	
		目標	90	90	60
	%	達成率	66.8	57.8	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	結果報告会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集対象をハイリスクアプローチ該当者に絞って開催。参集対象者に対する参加率は5割程度となったが、欠席者へも郵送とせず、別日に個別対応にて保健指導を行いながら結果を返却することを基本とした。特定保健指導の実施率は減少した。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市民の健康づくりのためには保健指導を市直営で実施することで、市全体の健康課題を把握しやすく、健康課題に直接的に働きかけることができると考えられる。また、日頃の市民との信頼関係のもと、実施可能となる状況も考えられるため、市が実施する必要がある。
事業の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスクアプローチの特定保健指導は健診受診から始まる支援(事業)であるため、健診受診率の向上が重要課題となる。そのためには、ポピュレーションアプローチを強化し、出前講座や講演会等で、健診の重要性を周知することが必要である。

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・結果報告会の実施については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今後も参集対象者を絞ることにより、ハイリスクアプローチに重点をおく。ハイリスク対象以外の方については、ポピュレーションアプローチとして、健診の事後指導時に、健康増進についての情報提供を行う。 ・佐久地域糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて、引き続き糖尿病未受診者への受診勧奨を重点的に行い、ハイリスク者については医療機関との連携をとりながら実施する。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	健康長寿ブランド化推進事業			事務事業コード	4112-15
担当	市民健康 部	健康づくり推進 課	保健医療政策 係	事業開始年度	平成 28 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	1.健康増進
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 海外視察の受入れを中心とした国際展開と健康長寿のブランド構築 足育による健康づくり活動の推進により健康寿命の延伸が図られ佐久市が先進的モデルとなる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ○佐久市の強みである「健康長寿」事業の展開 ・健康長寿を国外に発信するため保健医療分野において、海外からの視察研修の受入れを行うとともに体制の充実に取り組む。 ・海外視察受入機関(佐久病院・浅間総合病院・佐久大学)への支援 ・将来にわたり佐久市が健康長寿のまちであり続けるために、日常生活動作において重要な機能である歩行を通じた健康づくり「足育」を産官連携し推進。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	6,661		560		1,463	
	人件費	0.50 人	3,500	1.00 人	6,800	1.00 人	6,800
	非常勤職員等	955 時間	1,031	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	4,531		6,800		6,800	
	総事業費	11,192		7,360		8,263	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	2,669		448		1,159	
	一般財源	8,523		6,912		7,104	
	財源合計	11,192		7,360		8,263	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・海外視察受入 令和3年度0件（新型コロナウイルス感染症のまん延により受入れ要請なし） ・足トラブルへの足育対策システム検証調査業務の結果を反映させ、市内小中学校を対象に、歩行計測、足裏計測を地元企業と協働実施し、足育事業を推進した。 （実施内訳：小学校7校、中学校1校）
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
「歩行」に係る健康増進調査(事業)の実施	回	実績	1	8	
		目標	1	5	
	%	達成率	100	160	
成果指標	単位				
海外視察受入人数の増加	人	実績	0	0	
		目標	2	2	
	%	達成率	0	0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明> ・新型コロナウイルス感染症の影響により視察の受入れ要請等がなかったこと、及び医療機関、大学における受入れが困難な状況であったことから目標を達成することが出来なかった。 過去の実績：平成26年度 8か国 111人 → 令和元年度 9か国1団体 233人 ・足育推進については、少年期からの足育の推進を実施した。
	概ね達成	
官民連携の可能性	方法	<説明> 海外視察の受入れについては、市を介さずとも希望する機関施設への依頼及び対応が可能である。(市への依頼は市が対応する) 足育事業については、関係機関との連携が必要なため、民間と市が協働し実施していく。
	民間による実施が可能	
事業の課題	海外視察の受入れに関しては、国内外における新型コロナウイルス感染拡大の収束の目途が立たないため、対応が難しくなっている。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 海外視察の受入れについては、感染状況を注視しながら関係機関と協議したうえで対応する。 足育については、平成30年度から令和2年度の調査結果に基づき、産官学連携により、成人を対象にした事業や市内小中学校等において歩行計測や出張足育教室等を行う。						